

⑫ 公開特許公報(A) 平2-27065

⑤Int. Cl.⁵E 04 H 1/06
6/10

識別記号

A

庁内整理番号

7606-2E
7606-2E

④公開 平成2年(1990)1月29日

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全5頁)

⑤④発明の名称 駐車スペースつき建造物

②特 願 昭63-175668

②出 願 昭63(1988)7月14日

⑦②発明者	京 谷 健	東京都港区元赤坂1丁目2番7号	鹿島建設株式会社内
⑦②発明者	武 田 幸 和	東京都港区元赤坂1丁目2番7号	鹿島建設株式会社内
⑦②発明者	上 田 明 博	東京都港区元赤坂1丁目2番7号	鹿島建設株式会社内
⑦②発明者	井 部 博	東京都港区元赤坂1丁目2番7号	鹿島建設株式会社内
⑦②発明者	榎 並 正 宣	東京都港区元赤坂1丁目2番7号	鹿島建設株式会社内
⑦①出願人	鹿島建設株式会社	東京都港区元赤坂1丁目2番7号	
⑦④代理人	弁理士 久 門 知		

明 細 書

1. 発明の名称

駐車スペースつき建造物

2. 特許請求の範囲

- (1) 各階の中央部と外周部を隔壁によって仕切り、中央部を駐車スペースとし、この中央部を囲む外周部をワーキングスペースとしたことを特徴とする駐車スペースつき建造物。
- (2) 各階の駐車スペースには、上下の階を結ぶスロープが形成されていることを特徴とする請求項(1)記載の駐車スペース。
- (3) 屋上も駐車スペースとしたことを特徴とする請求項(1)記載の駐車スペースつき建造物。
- (4) 各階の駐車スペースとワーキングスペースは開口部でいききがで、各階に玄関、車寄せがあることを特徴とする請求項(1)記載の駐車スペースつき建造物。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、駐車スペースつき建造物に関す

るものである。

〔従来技術〕

従来建造物に駐車スペースを設けるには、地下室を構築し、この地下部分を駐車スペースとして使用するのが一般的であった。

〔この発明が解決すべき課題〕

このように地下部分を施工することは施工が大がかり、且つ困難にするものであって、施工費を高くするものであった。

一方、特に大規模建築物においては、外周から離れた中央部は日光が届かず、ワーキングスペースとするには多くの照明や換気設備が必要となっていた。

この発明は以上のような課題を解決するためになされたもので、建造物の全スペースを有効に使うとともに、また施工費を安価にすることが出来る駐車スペースつき建造物を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

この発明にかかる駐車スペースつき建造物は、

建造物の中央部を駐車スペースとして利用するものである。

建造物の各階は、中央部と外周部を隔壁によって仕切る。仕切られたこの中央部を駐車スペースとする。この中央部を囲む外周部をワーキングスペースとする。

隔壁に開口部を設けることで玄関を作ることができる。

各階の駐車スペースには、上下の階を結ぶスロープを形成する。

また屋上も駐車スペースとしてもよい。

〔作用〕

建造物の各階に駐車スペースを設けたため、地下部分を大きくする必要がない。

建造物の中央部を大がかりな照明等の不要な駐車スペースとして有効利用する。

各階にスロープを形成して、自走して所望の階に到達できる。

その階から同一階のワーキングスペースにすぐいききすることができる。駐車スペースと同

辺部の隔壁を主要な耐震壁とし、周辺部は壁の少ないスパンの大きな開放的なスペースとして構成できる。

屋上を駐車スペースとして利用し、そのスペースを更に大きく確保する。

〔実施例〕

以下、図示する実施例につき詳細に説明する。

図において1はコンクリート構造の建造物であり、杭2上に建築されている。建造物1は多層階であって、各階の中央部3と窓近くの外周部4は隔壁5によって仕切られている。この建造物1各階の中央部3を駐車スペースA、外周部4を人的活動の場となるワーキングスペースBとして使用する。

中央部3には中心に吹き抜け孔5が上下方向に貫通しており、ここに上下の階とを結ぶスロープ6が形成されている。

従って自動車は道路から建造物1内に入り、このスロープ6を通して自走して目的の階に到着できる。また建造物1の屋上も駐車スペース

3

Aとすれば、エレベータ等を必要とせずに自走して行ける駐車スペースAとして有効利用できる。

外周部4は窓から外光が侵入して成る程度の明るさが保たれる部分であって、日中は多くの照明を使用する必要がない。この外周部4は事務作業や製造作業等を行なう作業空間や住宅空間として使用するものである。この外周部4はパーティション等によって幾つかの空間に仕切るなどする。

個別空調機により空調を行ない仕切りを自由に行える様にする。

建造物1の各階のスラブ7は、内部にP C鋼材を縦横に配し、このP C鋼材によって応力に耐えるようにしたフラットスラブが採用してある。従ってスラブ7は梁が無い。

建造物1は地下部分8を有しているが、この地下部分にはボイラー、空調機械等の機械設備9を収納できる。

5

4

〔発明の効果〕

この発明は以上のような構成を有し、以下のような効果を得ることができる。

- ㊦ 余り外光の届かない建造物の各階の中央部を駐車スペースとしたため、大がかりな照明設備等の必要としない駐車場として有効利用できる。
- ㊧ 建造物の中央部と外周部を隔壁によって仕切り、この隔壁が耐震壁として機能する。すなわち建造物中心部に耐震壁が存在するセンターコア構造となって良好な耐震性を得ることになる。
- ㊨ 地下部分に駐車スペースを設ける必要なく地下構築工事が小規模となって施工コストを低くすることができる。
- ㊩ 各階の駐車スペースに上下の階と通じるスロープを設けることによって、建造物外部から自走によって自動車で目的の階に到着でき、また近接したワーキングスペースにスムーズに行くことができる。

6

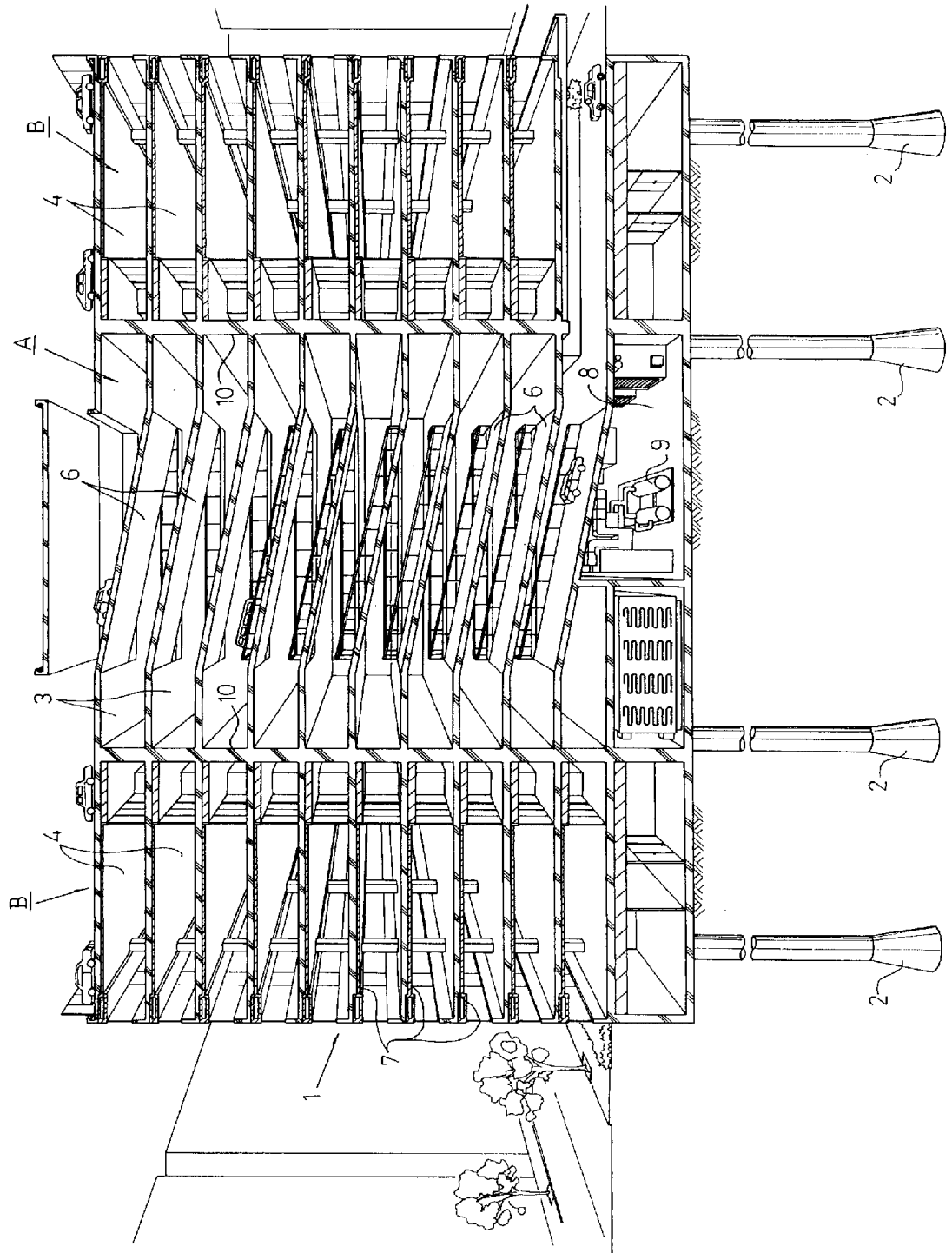
- ㊥ 屋上も駐車スペースとして使用すれば、エレベータ等の設備が不要な駐車場として有効利用できる。

4. 図面の簡単な説明

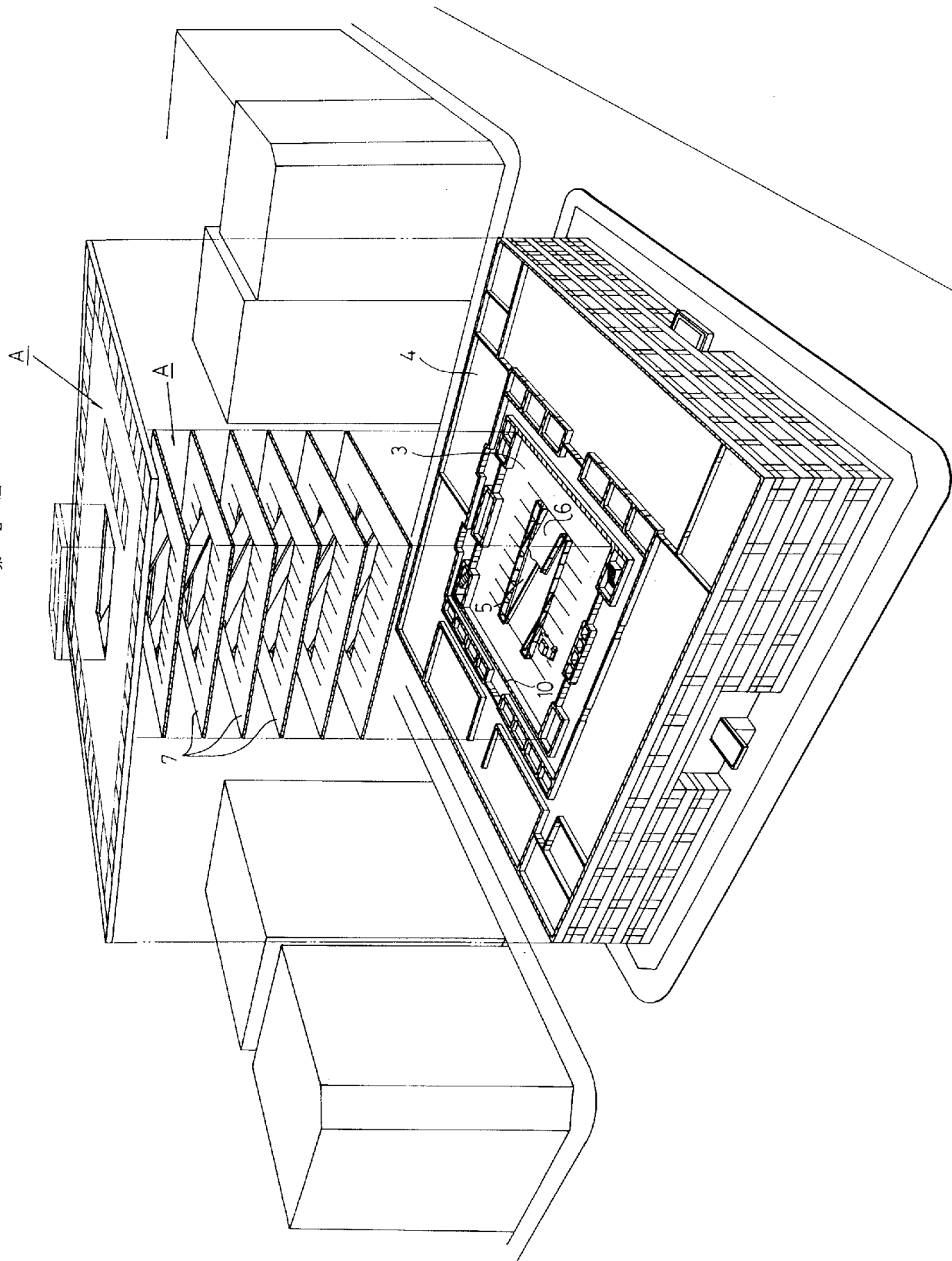
第1図はこの発明にかかる建造物の縦断面図、第2図はその内部構造を示す斜視図である。

A・・・駐車スペース、B・・・ワーキングスペース、1・・・建造物、2・・・拡底杭、3・・・中央部、4・・・外周部、6・・・スロープ、7・・・スラブ。

第 1 図



第 2 図



PAT-NO: JP402027065A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02027065 A
TITLE: BUILDING WITH SPACE FOR
PARKING
PUBN-DATE: January 29, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KYOTANI, TAKESHI	
TAKEDA, YUKIKAZU	
UEDA, AKIHIRO	
IBE, HIROSHI	
ENAMI, MASANORI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KAJIMA CORP	N/A

APPL-NO: JP63175668
APPL-DATE: July 14, 1988

INT-CL (IPC): E04H001/06 , E04H006/10

US-CL-CURRENT: 52/236.3

ABSTRACT:

PURPOSE: To set off a parking place close to a working space and reduce the cost for execution by partition each floor of a building into the

central part and peripheral parts with bulkheads, and using the central part and on the roof for parking.

CONSTITUTION: Each floor of a building 1 is partitioned into the central part 3 and peripheral parts 4, 4 with bulkheads 10, 10, and the peripheral parts 4, 4 are set for as working spaces B, B while the central part 3 and on the roof are used as parking spaces A. The parking space A of each floor is equipped with a slope for connection with other floors so that a car runs by itself to reach a desired parking position. Openings are provided in appropriate positions of the bulkheads 10, 10 to enable communication between the working spaces B, B and parking space A. This accomplishes effective utilization of the central part 3 of a building which used to be in poor sunshine and ventilation, and also the underground construction can be suppressed to a minor size.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio